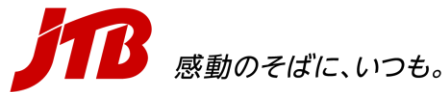


令和6年度 農村RMO中央研修会

令和6年8月20日(火)～21日(水)



株式会社 JTB

農村振興局 農村政策部 地域振興課



令和6年度 農村RMO中央研修会カリキュラム

日 時:令和6年8月20日(火)～8月21日(水)

場 所:TKPガーデンシティPREMIUM田町

【1日目】 8月20日 (火)	開 場	12:00	13:00	13:10	14:10	14:25	15:35	15:50	17:00	17:20	18:10				
		開会式	研修① <講義・全員参加>		休憩 移動	研修② <講義・選択制>		研修③ <講義・選択制>		研修④ <交流会・全員参加>					
			ホール4B・C			第1分科会	カンファレンスルーム4E	第1分科会	ホール4B・C	ホール4B・C					
		オリエンテーション・開会式・セッション	持続可能な地域社会の創り方 ～農村RMO進化論～			講師:猪田 有弥 特別研究員 山下知子 研究マネージャー	農村RMOの活動を「生活支援」につなげる	地域資源の活用方法を考える 講師:藤山 浩 所長 猪田有弥 特別研究員	休憩 移動	カンファレンスルーム4E	ポスターセッション準備	●ポスターセッション交流タイム・名刺交換会 ●関連施策紹介等			
						ホール4B・C		第2分科会		カンファレンスルーム4E				第2分科会	GISを使って、集落の土地利用を考える 講師:新田 直人 研究部長
						講師:藤山 浩 所長		「卒業」をにらんだ持続的な農村RMOの経営 講師:藤山 浩 所長		カンファレンスルーム4F				第3分科会	地元関係図・地元天気図ワークショップ 講師:野村 秀一郎 主任研究員 山下知子 研究マネージャー
		10分	60分	15分		70分	15分	70分	20分	50分					
		事務局	講師:(一社)持続可能な地域社会総合研究所 藤山 浩 所長、新田 直人 研究部長、猪田 有弥 特別研究員、山下 知子 研究マネージャー、野村 秀一郎 主任研究員									関係府省等			
		小林デザイン事務所 小林 加奈 氏													

【2日目】 8月21日 (水)	開 場	8:30	9:00	10:00	10:10	10:40	12:00	13:00	14:30	14:50	15:00
		研修⑤ <講義・全員参加>		休憩	研修⑥ <ワークショップ・全員参加>		昼食休憩	研修⑥ <ワークショップ・全員参加>		閉会式	
		ホール4B・C			ホール4B・C			ホール4B・C			
		農村RMOは誰と、どう活動を組み立てたらよいか			ファンリテーションの肝を学ぶ	農地一筆毎の未来予想図を描く		村づくりのストーリー化		まとめ講評	閉会式
60分	10分	30分	80分		60分	90分		20分	10分		
講師:弘前大学大学院 地域社会研究科 平井 太郎 教授 研修サポート:NPO法人ひろだいいりサーチ 竹ヶ原 公 研究員 まちの人事企画室 川淵 一清 氏、和田 直樹 氏、小森 政博 氏											
事務局											

※カリキュラムの時間及び内容は変更になる場合がございますのでご了承ください

【 講 師 】

1日目

研修名	講師	
研修① 持続可能な地域社会の創り方 ～農村RMO進化論～	一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所 藤山 浩 所長	
研修②	【第1分科会】 農村RMOの活動を「生活支援」につなげる	一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所 猪田 有弥 特別研究員 山下 知子 研究マネージャー
	【第2分科会】 「卒業」をにらんだ持続的な農村RMOの経営	一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所 藤山 浩 所長
	【第3分科会】 人口分析・農業就業者分析	一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所 新田 直人 研究部長 野村 秀一郎 主任研究員
研修③	【第1分科会】 地域資源の活用方法を考える	一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所 藤山 浩 所長 猪田 有弥 特別研究員
	【第2分科会】 GISを使って、集落の土地利用を考える	一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所 新田 直人 研究部長
	【第3分科会】 地元関係図・地元天気図 ワークショップ	一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所 野村 秀一郎 主任研究員 山下 知子 研究マネージャー
	【第4分科会】 グラフィックレコーディング 講座	小林デザイン事務所 小林 加奈 氏

一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所

持続可能な地域社会をボトムアップ的に構築する取り組みと共進化を促す情報ネットワーク開発を全国的に支援。活動範囲は北海道から九州・沖縄に至る全地方ブロックに広がっており、これまでに全国24都道府県及び2省庁2大学からの業務受託、共同研究を展開。

近年では、農林水産省の農村RMO(地域運営組織)事業に関わる支援も展開しており、新潟県の「ビレッジプラン2030」事業等において実施している農業就業者のシミュレーションや地元関係図・地元天気図ワークショップ等の手法を広く展開。

一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所 藤山 浩 所長

1959年、島根県益田市生まれ。一橋大学経済学部卒業。博士(マネジメント)。

島根県中山間地域研究センター等を経て2017年より現職。総務省地域力創造アドバイザー他、国・県委員多数。

専門は、中山間地域政策、未来社会論、地域計画、地域分析(人口・経済)、地域づくり支援。

著書に「田園回帰1%戦略」、「循環型経済をつくる」、「小さな拠点をつくる」、「日本はどこで間違えたのか」など。

持続可能な地域社会総合研究所WEBサイトより
(<https://www.susarea.jp/greeting.html>)

【 講 師 】

■ 2日目

研修名	講師
研修⑤ 農村RMOは誰と、どう活動を組み立てたらよいか	弘前大学大学院 地域社会研究科 平井 太郎 教授
研修⑥ ファシリテーションの肝を学ぶ 農地一筆毎の未来予想図を描く (ワークショップ) 村づくりのストーリー化	弘前大学大学院 地域社会研究科 平井 太郎 教授
	NPO法人ひろだいいリサーチ 竹ヶ原 公 研究員
	まちの人事企画室 川渕 一清 氏 和田 直樹 氏 小森 政博 氏

弘前大学 大学院 地域社会研究科 平井 太郎 教授

東京大学大学院総合文化研究科単位取得退学、博士(学術)。
専門は社会学(環境をめぐる合意形成)。
2011年より集落支援員・地域おこし協力隊の全国研修会講師。農林水産省新しい農村政策の在り方に関する検討会委員。
総務省地域力創造アドバイザー。

NPO法人ひろだいいリサーチ

地域政策課題解決のための研究事業活動を実施。その成果を地域社会に還元することにより、活性化のための活動を自律的に行う地域の実現に寄与することを目的とし、中間支援組織としての継続的な地域支援に取り組む。

まちの人事企画室

丹後・但馬地域をメインに、東京・京都・兵庫のメンバーがリモートで繋がりながら、地域課題に取り組中。
行政(教育・地域連携・採用)、企業(経営企画・採用・人事)などの伴走支援事業を実施。

まちの人事企画室HPより
(<https://www.machi-jinji.co.jp/>)

研修① 講義

「持続可能な地域社会の創り方～農村RMO進化論～」

講 師 一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所
藤山 浩 所長



研修② 講義

【第1分科会】農村RMOの活動を「生活支援」につなげる

講 師 一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所
猪田 有弥 特別研究員
山下 知子 研究マネージャー
事例発表 佐田地域づくり協議会（島根県出雲市）



【第2分科会】「卒業」をにらんだ持続的な農村RMOの経営

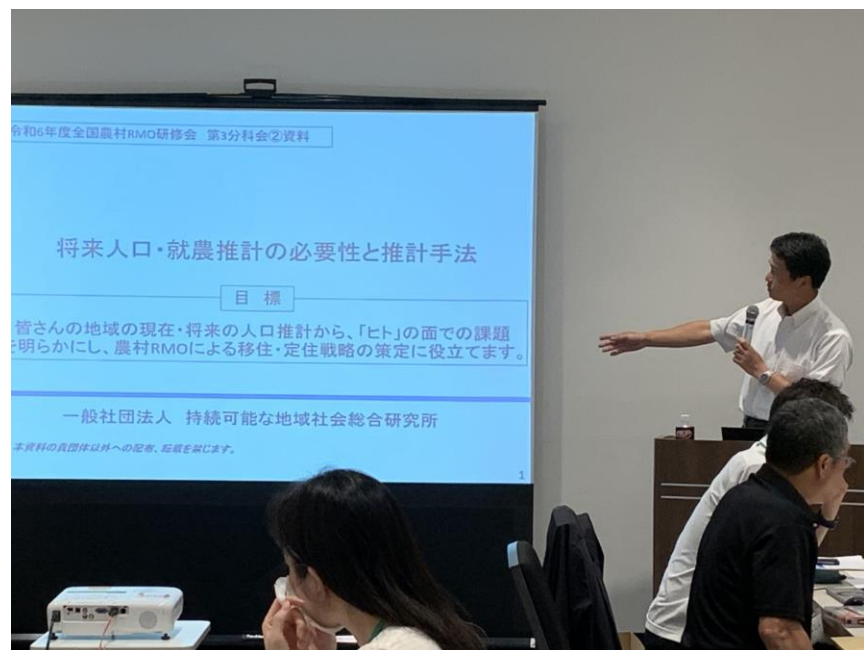
講師 一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所
藤山 浩 所長

事例発表 NPO法人ほほえみの郷トイトイ



【第3分科会】人口分析・農業就業者分析

講 師 一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所
新田 直人 研究部長
野村 秀一郎 主任研究員



【第1分科会】地域資源の活用方法を考える

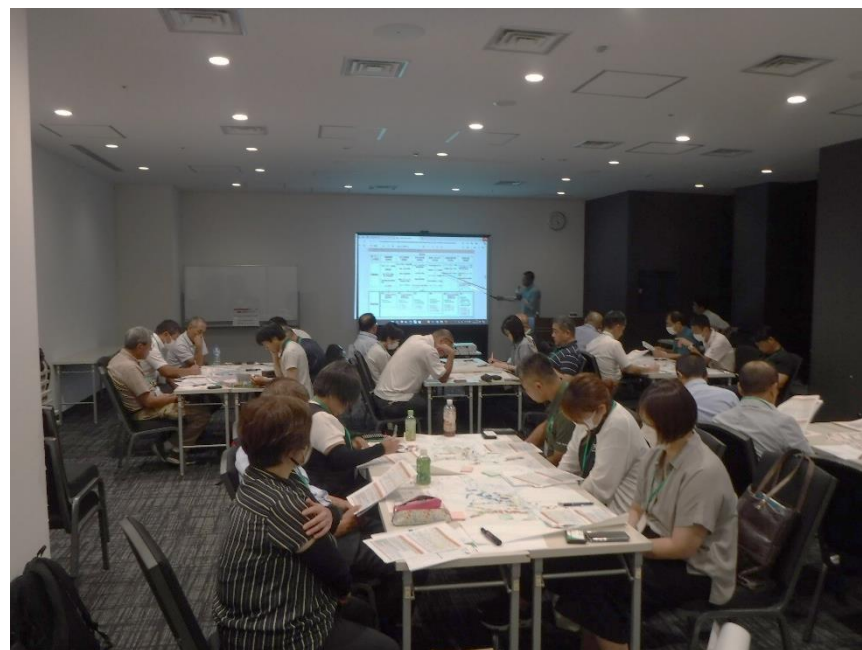
講 師 一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所
藤山 浩 所長
猪田 有弥 特別研究員
事例発表 秋津野地域づくり協議会（和歌山県田辺市）



【第2分科会】GISを使って、集落の土地利用を考える

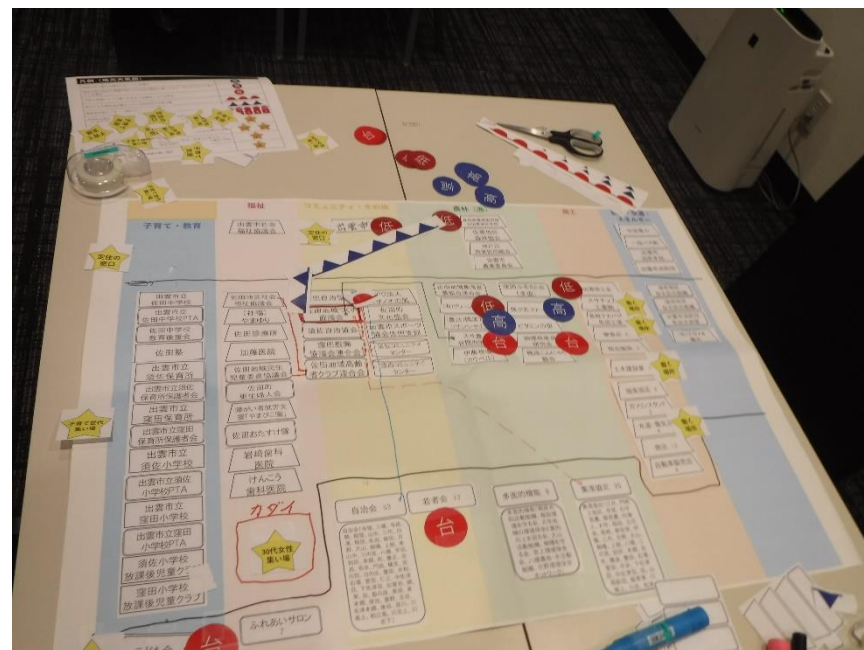
講 師 一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所
新田 直人 研究部長

事例発表 出羽地区運営協議会（島根県邑南町）



【第3分科会】地元関係図・地元天気図ワークショップ

講師 一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所
野村 秀一郎 主任研究員
山下 知子 研究マネージャー



【第4分科会】グラフィックレコーディング講座

講 師 小林デザイン事務所
小林 加奈 氏



※グラフィックレコーディングとは、ミーティングでの議論内容や提案を、絵や図形などのグラフィックを用いてリアルタイムにまとめる手法です。

研修④ 交流会

ポスターセッション交流タイム・名刺交換会、関連施策紹介等



「農村RMOは誰と、どう活動を組み立てたらよいか」

講師 弘前大学大学院 地域社会研究科
平井 太郎 教授



研修⑥ 講義

「ファシリテーションの肝を学ぶ」

「農地一筆毎の未来予想図を描く」

「村づくりのストーリー化」

講師 弘前大学大学院 地域社会研究科
平井 太郎 教授

アイスブレイク

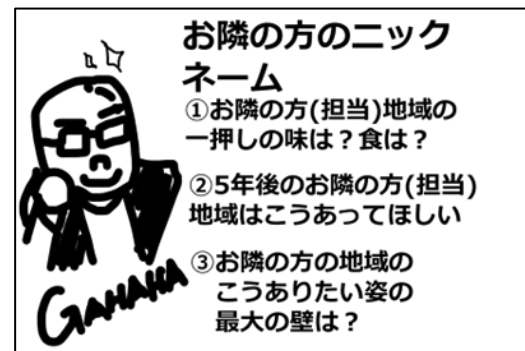
- ・ファシリテーターは、会場の参加者の緊張を解きほぐし、意見を言いやすい雰囲気づくりが大切
- ・雰囲気づくりの手法について学ぶ

似顔絵の作成

- ・隣の方の似顔絵を描き、「ニックネーム」、「地域の一押し
の味は？食は？」、「5年後の地域はこうあってほしい」、
「地域のこうありたい姿の最大の壁は？」を聞いて似顔絵に
記載する

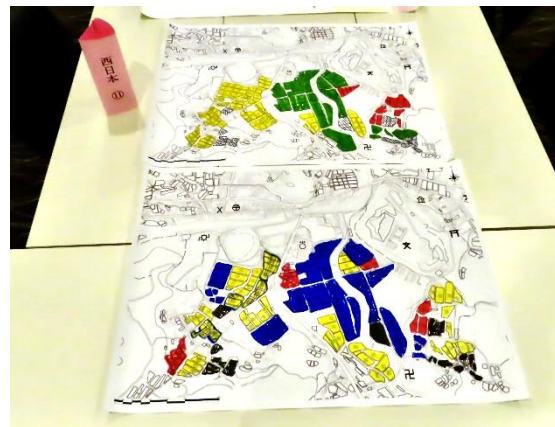
自己紹介、他己紹介

- ・作成した似顔絵をグループ内で紹介する
- ・共感できる方の似顔絵に★シールを貼る



地域の現状把握

- グループ内で2組に分かれ、農地1筆ごとに「耕作者の年齢階層」、「農地の作目・用途」の色を塗る



未来予想図

各グループで設定

年齢階層

- 60歳代以下
- 70歳代
- 80歳代以上
- 耕作放棄地

作目・用途

- 水田
- 樹園地
- 畑（野菜）
- 耕作放棄地

村づくりのストーリー化

- 色塗りの2枚の地図を基に、10年後の理想像「どこがどうなっていたら良いか」を付箋に書き出して図面に貼っていく



- 理想像を実現するためのストーリーをつくる
- 「いつまでに」、「誰が」、「何をする」のか話し合い、結果を付箋に書き出して用紙に貼っていく

